

意見書案第3号

OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求める意見書の提出について

上記の議案を別紙のとおり花巻市議会会議規則第13条第1項の規定により提出します。

令和7年12月5日提出

花巻市議会議長 藤原 伸 様

提出者 花巻市議会議員 櫻井 肇

賛成者 花巻市議会議員 照井 明子

花巻市議会議員 久保田 彰孝

OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求める意見書（案）

政府は「経済運営と改革の基本方針」において、現役世代の保険料負担を軽減するためとして「OTC類似薬の保険給付の在り方の見直し」を盛り込み、2026年度中に実施する方針を示しています。

OTC類似薬の保険適用除外が行われると、医師の判断ではなく患者の自己判断で市販薬を使用することが増え、適切な治療が受けられず重篤化することが懸念されます。また、患者の自己負担が大幅増を招き、治療が継続できない事態が起きかねず、難病患者の家族や日本アトピー協会などから保険適用の継続が求められています。

この間当花巻市をはじめ多くの市町村が子ども医療費の助成制度の対象年齢を引き上げるなど、子どもたちの命と健康を守る施策を強めてまいりました。

これまで助成制度の対象となっていた処方薬がOTC類似薬の保険適用除外によって市販薬を購入せざるを得ないようになれば、子育て世帯にとっては大幅な負担増となる場合がでてくることを懸念します。

日本小児科医会からは「保険適用除外は保護者の経済的負担を増し、『子育て支援』策として全国的に広がっている小児医療費の保護者負担軽減の方向に逆行し、『子育て妨害』です」との指摘がされています。

国民の2人に1人が罹患しているといわれる「花粉症」や、1,000万人を超えている「変形性膝関節症」などの広範な患者の負担増にもなりかねません。

よって花巻市議会は政府に対して、すべての国民が必要な医療を受けることができるように、OTC類似薬の保険適用除外を行わないことを求めます。

以上地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和7年12月19日

提出先

内閣総理大臣
財務大臣
厚生労働大臣
衆議院議長
参議院議長

花巻市議会議長 藤原 伸